

1. 産業領域

半導体産業・半導体ユーザー産業

＜特定の理由＞

- 2021年のTSMC進出を契機に、半導体産業・半導体ユーザー産業の分野で、**旺盛な設備投資**が進むとともに、**産学連携**の機運も高まっている。
 - とりわけ、AI、自動運転、ロボット、遠隔医療などの半導体を使用する「半導体ユーザー産業」の集積・発展を図っていくことで、**将来にわたって県民を豊かに、幸せにする未来型の産業の創出**が見込まれる。
 - また、半導体関連分野と**異なる産業領域を融合・掛け合わせ※**て、**更なるイノベーション・新産業の創出**も見込まれる。
- ※「半導体×食＝スマート農業」、「半導体×ライフサイエンス＝遠隔医療」、「半導体×観光＝自動運転」等

2. 対象エリア

熊本県全域のうち、重点支援企業の本社又は事業所の所在する市町村
(熊本市、八代市、宇城市、合志市、玉東町、大津町、菊陽町、益城町)

- 熊本県では、国の戦略産業クラスター計画（A計画）に対して、**道路、鉄道、工業用水、公共下水道、くまもとサイエンスパークの整備、県立大学の建物整備等のインフラ整備に係る提案**をしています。
- また、熊本県版の地域産業成長プランとして、本分野の他に、「**食のみやこ熊本県**」の**創造とライフサイエンス産業分野」「観光交流関連産業分野」**のB計画・C計画を取りまとめています。



3. 目指す姿（目標）

（1）現状

大手半導体デバイス、製造装置メーカーを中心に多くの半導体関連企業が立地。2024年の製造品出荷額等は約3.5兆円で増加傾向。
一方で、人材不足・生産性向上・産学連携による新技術・新サービスの開発等などは課題。

（2）目指すべき目標（2030年）

重点支援企業による積極的な設備投資を通じて、**県内総生産の増加等を目指す。**

- ・ 県内総生産(名目値) 3,500億円の増加
- ・ 官民設備投資額 450億円(累積)
(20億円/年)
- ・ 産業人材育成数 3,000人 (累積)

4. 勝ち筋

- ・ 半導体関連産業に加え、半導体を使用する**ユーザー産業の集積・発展**を図る。
- ・ くまもとサイエンスパークでは、**設計や高度な後工程**の技術も含め、**海外との連携**も視野に入れて対応を進める。**産学連携**を中核に、共同研究・人材育成等を推進する。
- ・ 県内の**地場企業を育成**し、サプライチェーンへの参入を支援することで、域内取引の拡大を図る。
- ・ 九州各県との緊密な連携の下、**半導体関連産業等を支える人材育成**を進める。

5. 政策手段

（1）投資促進に向けた課題

＜インフラ面＞

産業用地の整備、交通渋滞等への懸念。

＜人材面＞

2024年度の九州の半導体関連企業の採用計画に対し、年間で550人の人材不足。

（2）講じるべき政策パッケージ

- 国・県・支援機関が一体となって、計画推進の核となる**重点支援企業に対する重点支援**を進める。
- 具体的には、県が中心となり**企業ごとに担当職員を配置**。国と県が連携して設備投資補助金などの支援メニューを講じつつ、徹底した伴走支援により成長を促進する。